

今月は犬の散歩。

お彼岸も終わり、澄み切った青空が広がっています。

「天高く、馬肥ゆる秋」動きやすい季節になり、花や木々の表情も鮮明に、美しくなり、新鮮な感じを受けています。

この時期、金木犀の香りが何処からともなく漂い、いい香りに包まれながらの犬の散歩。右手、下に中学校のグラウンド。 サッカー・野球・陸上・バレーそれぞれ練習に励んでいるのを見ながら、右手に折れて住宅街へ、各ご家庭の木や草花を眺めながら、昔、山を削って造成した名残のある斜面に出てきます。

1m幅くらいの遊歩道が 200m ぐらい続き右側斜面には、ところどころに桜、松、萩、柏木が点在しています。

左側は、一面に畑が広がり季節によって、ねぎ、さつまいも、小松菜、ほうれん草などが植わっています。

斜面のとっかかりに、桜が 50m くらい植えてあります。春にはきれいな白い大輪系の花を咲かせ、今の時期は、歩道のあたり一面、青虫が活動したと思われる茶色の丸みを帯びた糞が敷き詰めたように落ちています。

少し行くと一輪咲きの鉄砲ユリを小型にしたような楚々とした白いユリがポツリポツリと咲いています。店で販売しているような力強さがないだけに、いかにも自然を感じさせます。萩が2週間位前から咲き始め、今が丁度見頃、つる性のオレンジ色がかった黄色いアジサイの小型の花を咲かせた後にかわいいグリーンの実をつける「あまちゃづる」。P系のイヌタデがところどころに咲いています。

春から7月にかけてススキが芽をだし緑色の葉をあたり一面に我が物顔で、占領していたのですが、7月の下旬に、この斜面の草を全部綺麗に刈り取られました。

ススキがまた出てくるのかと思いきや5分の1。その他は「なきりすげ」（糸薄のような細い葉の先端に少しばかりの穂をつけています）が一気に勢力を伸ばし「すげ」の野原といった感じになっています。

9月の初旬いいお天気続きの時、どの野草（のぐさ）も枯れる寸前になっていました。どの植物も同じですが、例えば「ススキ」葉は、お天気が続くに従って葉の面が狭くなり閉じはじめ、次第に丸みを帯びたようになり、色あせて、4,5日つづくともう1,日2日で枯れるのでは・・・（お天気が続くと、植物も葉を広げていると水分がどんどんと蒸散するので、陽の当たる面を狭くしていきます。）

とっていたところ夜に相当量の雨に恵まれ次の日の散歩が楽しみです。

どの木々も草花も葉のグリーンが瑞々しく、生き活きと深い緑に変わり葉もしっかりと両面に開き、雨を全身で受け止めている様子。

足元の「ちがや」の茶色が緑に映えて美しく、「ありたそう」の黄色い小粒の花「よめな」の薄紫のかれんな花。2年ほど前にススキの足元に珍しい「南蛮キセル」の花があ

ったのにと探しながら、日々の変化を楽しみ、また植物の不思議もおもしろく、青虫の食欲、いろいろの生命を感じながら、歩道の草ぐさが、はみ出ているところは、歩きやすく整理されているのに感謝しつつの毎日の犬の散歩。

植物の事も、もっともっと掘り下げて勉強すると面白さが増すのではと反省しつつ・・・

2017年9月27日 西井 忠義